

山形から「秋」を追う

山里の紅葉を 映し出す 東北の水面

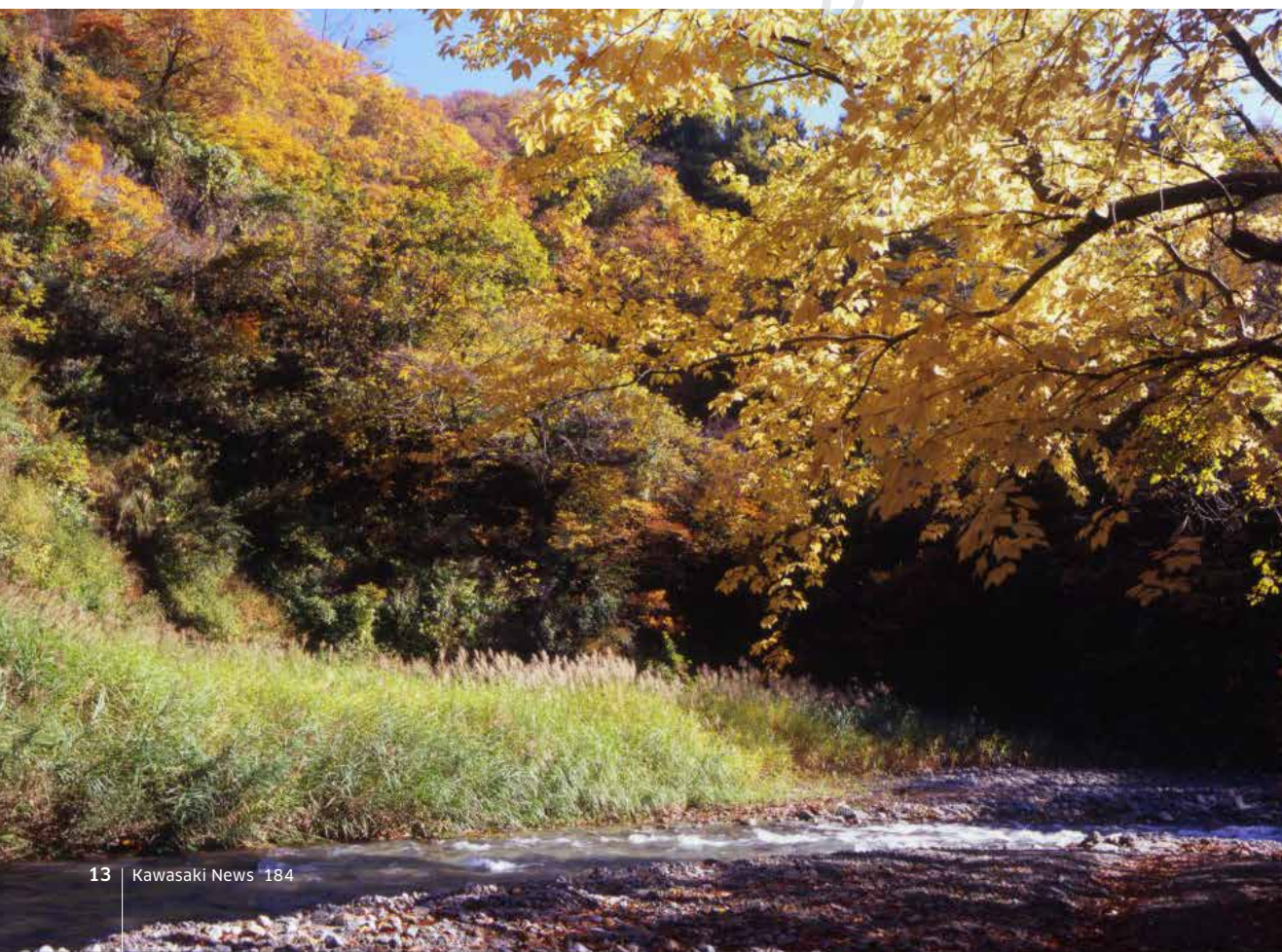


【写真右】飯豊山が源流の置賜白川。上流の白川ダム周辺には白川温泉やオートキャンプ場があり、四季を通じてアウトドア客で賑わう。

【写真上】山形県酒田市、鳥海山山麓にある鶴間池(つるまいけ)。ブナ林の見事な紅葉の中、湖面までのトレッキングが楽しめる。

【写真中】最上川の支流、鮭川(さけかわ)。その名の通り鮭の遡上が見られる、全国でも有数の清流だ。

【写真下】山形県長井市、野川渓谷で撮影した置賜野川(おきたまのがわ)。近くには県内屈指の規模を誇る巨大ダム、長井ダム(ながい百秋湖)がある。



気持ちの良い秋晴れで、空が高い。紅葉を撮るにはうってつけの日だ。車に乗り込み、山形県南部 置賜地方の飯豊町へ向かった。

飯豊連峰と朝日連峰に抱かれた飯豊は、きのこや山菜の宝庫で、秘湯が湧き、特産品のどぶろくが有名だ。この時期は紅葉狩りや釣り、トレッキングや温泉客で賑わいをみせる。山形でも人気の観光スポットだ。

飯豊町で街道を左折し、最上川の源流のひとつ、置賜白川を求めて山間部に入る。秋の収穫が終わった山里はすでに冬支度をはじめ、車窓からの風もひんやりと澄んで心地よい。

置賜白川の上流には年間 35万人もの人が訪れる白川ダムがあり、人造湖の白川湖が広がっている。東北でも有数の豪雪地帯に築かれた白川ダムは、古来より住民を悩ませた洪水と渇水を収め、今では地域の活性化に貢献している。湖の周辺には観光施設が充実していて、この日も多くの観光客がカメラを片手に湖畔の散策を楽しんでいた。

しばらく歩くと静かな一角が見つかった。湖面にせりだす飯豊山が見事な紅葉に色付いていて美しい。雲ひとつなく、日差しもちょうど良い。晴天に恵まれた一日だ。カメラを取り出し、シャッターを切る。鏡のように静まった湖は、赤や黄に染まった木々を映し出していた。